

進路通信（入試情報特別版） 南風（ふえーぬかじ）

令和2年7月31日

第2号

発行：進路指導部

高校3年生の皆さん、受験勉強の進捗状況はいかがでしょう？学校も再開して、あっという間に夏休みを迎えます。今年の夏は特に短い夏休みとなっていますが、受験勉強の進捗状況の振り返りや今後のスケジュールリングなどやるべきことは様々あります。コロナの脅威にさらされる毎日ですが、自分の目標や夢に向かって邁進してください。この国難ともいえる事態の中で、困難に打ち勝ち、社会で求められていく人材となる一步を踏み出し続けていきましょう。

さて、今回の入試情報特別版では、令和3年度国公立大の入試日程情報と6月に実施した進研共通テスト模試の大学志願状況（志望動向）の分析などをお知らせしたいと思います。ぜひ参考にしてください。

令和3年度国公立大入試日程

①共通テストに関する情報

第1日程（1/16・17）
第2日程（1/30・31）
特例追試（2/13・14）

- ※ 現役生は、学業の遅れを学校長が認める場合に第2日程を選択して受験することが可能。
- ※ 第1日程の受験者は、疾病等で受験できない場合、追試として第2日程で受験可能。
- ※ 第2日程の受験者は、疾病等で受験できない場合、追試として特例追試で受験可能。
- ※ 第2日程は全国47都道府県に会場設置。
- ※ 特例追試は東京・大阪の2会場。
- ※ 特例追試は従来のセンター試験の時間割・出題範囲そのまま。

これまでのセンター試験では、本試験よりも追試験の方が難しい問題となっていました。今回の特例追試が昨年度までのセンター試験と同時間割・同内容で出題されるということから、第2日程はもともと予定されていた追試の問題を用いると予想されます。従って、第1日程と第2日程では第2日程の方が難しい問題となっている可能性が非常に高い。第2日程は後出しジャンケンのように第1日程の問題を見れるというメリットもありますが、わずか2週間で対応できるかというところ…メリットとは言えないかもしれませんね。

②国公立大入試日程に関する情報

共通テストの日程変更を受けて、国公立大の入試日程は以下のように決まりました。

【通常日程（第1、第2）受験者】

出願締め切り日：（当初）2月3日 （変更）**2月5日** 2日間後ろ倒し

試験日：変更なし

他：第1段階選抜や合格発表などに変更有

※ 第2日程で各予備校の集計が実施されるかはまだ不明…

【特例追試受験者】

出願期間：**2月15日～18日**

試験日：変更なし

他：**前期の第1段階選抜は第1日程、第2日程受験者とは別に進行。**

【国公立個別入試の追試験設定】

※ 追試を設定。（設定しない場合は各大学判断）

※ 国立は3月22日以降で設定。公立大は大学判断。

※ 追試対象者は各入試日程において「コロナ罹患」、「濃厚接触者」、「当日 37.5℃以上の発熱」などの事由で受験できない者を基本として各大学が判断。

【共通テストを課す学校型選抜、総合型選抜】

● 共テ通常受験者…合格発表：（当初）2月10日まで （変更）**2月16日まで**

● 共テ特例追試受験者…合格発表：**2月22日まで**

現在、全国的にコロナ感染者が増加傾向にありますので、今後もまた日程変更等が生じる可能性があります（変更がある場合は後ろ倒ししか考えられませんが…）。

いずれにせよ、各大学は7月31日までに募集要項または大学HP上で公表することになっていますので、**受験校の募集要項を確実に確認**しておきましょう！



6月進研模試志願者動向

※コロナの影響により模試の受験者数が大都市圏を中心に大幅に減少（前年比 84%）していますので、1つの参考としてください。

①令和3年度大学入試を取り巻く環境まとめ

- ・新入試の開始（共通テスト実施）
- ・受験人口の減少（18歳人口（前年比 98%）、既卒生が例年より少ない）
- ・コロナの影響拡大

②志願者の動向

- ・模試受験者における国公立志願者の割合増。国立志願者総数は昨年より減少。
- ・私立大学志願者総数が大幅に減少。特に首都圏、京阪地区といった大都市圏で顕著。
- ・地元志向の強まり。特に地方に住む受験生の大都市圏私立大敬遠が顕著。
- ・国公立志願者の傾向…難関国立大学＞ブロック大＞地方国立大
- ・私立志願者の傾向…共テ利用は志願者数大幅増。個別入試が減少。
中堅私大（日東駒専、大東亜帝国、摂神追桃）で志願者減少が目立つ

国立志願者数自体が減少している。浪人生の減少もあり難関国立の志願者にとってはチャンスと捉えたか、難関国立の人気の高い。現時点では国立志願者の割合は高いが、今後の志願状況の変化は要注目。国公立志願の興南生は共テを受ける前に諦めることの無いようにしよう！

首都圏の私大よりは地元私大と考えている受験生、家庭が多くなっています。コロナの影響が色濃く反映されています。首都圏難関私大の志願者も減少しているのでこれもまたチャンスあります。

③系統別動向

- | 【国公立】 | 【私立】 |
|--------------|-----------------|
| ・医学、薬学の志願者増加 | ・医学、保健衛生学の志願者増加 |
| ・情報系の人気は変わらず | |

コロナの影響？医学系統の志願者増加が顕著にみられる。何を目指すかは人それぞれですが、社会全体を見て、自分もこの分野で貢献したいという高い志をもった若者が多いというのはいいことです（＞ ＜）

学校推薦型、総合選抜型

入試改革に伴って、学校推薦型、総合選抜型の募集枠が国私ともに増加傾向にあります。このご時世ですから、早く入試を終わらせたいと考える家庭、受験生も多いでしょう。公募推薦やAO受験を考えている興南生、厳しい戦いになりますが、合格を勝ち取れるように準備していきましょう！面接指導の先生にビシビシと鍛えてもらいましょうね（笑）

ただ、注意してほしいことが…それは、「残念ながら…」という結果もあるという事実です。この場合、例年より日程が後ろ倒しになってしまった分、一般受験までの日数が少ない事も計算に入れておいてください。一般受験の勉強と並行して準備していくことを忘れずに。決して「受かる」と思い込まないようにしてくださいね！

大学関係者からのマル秘情報

6月、7月と県外から多くの私立大学関係者の方が進路室を訪れ、大学案内等をしていただきました。その中で、昨年までの大学入試の状況や入試結果、今年度の入試動向など根掘り葉掘り探りを入れ、手に入れた情報（地方私立大学）をお伝えしますので参考にしてください。

●昨年の入試状況を教えてください。

受験生の現役志向が極めて強く、AO入試、指定校推薦等で受験する生徒が多かった。（中堅以下の）地方私立大としては、このような生徒たちをまずは合格させて、学生数を確保しました。その結果、一般入試の合格者数を絞らざるを得ず、一般入試の合格ラインが高いものになってしまいました。実際に不合格者の中には、地元の国立大学に合格した生徒も見られました。

●今年はどうような見通しを立てていますか？

コロナの影響もあり、地元志向が強まると考えています。また、現役志向も高く、昨年度同様に学校推薦型や総合選抜型の受験生で学生を確保していくと思います。必然的に、一般入試の合格ラインも高くなると考えています。

●ポートフォリオはどのように扱うのでしょうか？

大学独自の様式で、出願時の必要書類として扱います。得点化も考えていますが、配点比率は小さくなると思います。

●学力検査は？

課します。指定校推薦であっても、ひどい点数をとるような場合、落とすことも考えています。